



エバーゴル® ワイド 箱粒剤

箱処理で、 稲を守る 力強い守護者

- 紋枯病防除剤エバーゴル(有効成分)配合!
- 稲の主要病害虫に優れた効果と残効性を発揮
- いもち病防除の新定番ルーチン®(有効成分)配合
- は種時から田植え当日まで使用可能



紋枯病防除剤エバーゴル(有効成分ペンフルフェン)配合!

エバーゴル[®]ワイド 箱粒剤

農林水産省登録 第23459号

- 成分：イソチアニル……………2.0%
- ペンフルフェン……………2.0%
- イミダクロプリド……………2.0%
- クロラントラニプロール……………0.75%
- 毒性：普通物〔「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称〕

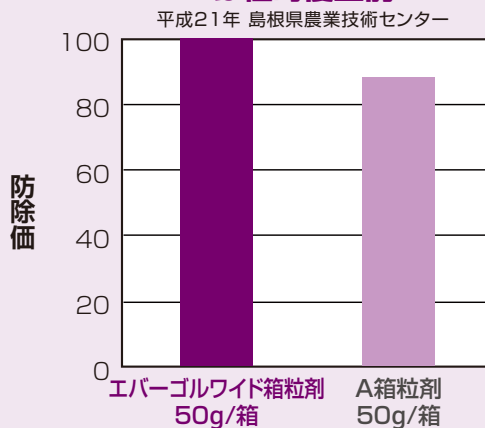
適用病害虫および使用方法(2018年10月現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	疑似紋枯症 (褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症 (赤色菌核病菌) 疑似紋枯症 (褐色菌核病菌) もみ枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植当日	本剤:1回 イミダクロプリド:3回 (移植時までの処理は1回、 本田での散布は2回)	育苗箱の 上から均一に 散布する。
	は種時(覆土前) ～ 移植当日		クロラントラニプロール:1回		
	は種前		イソチアニル:3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回) ペンフルフェン:1回	育苗箱の 床土または 覆土に均一に 混和する。	
	穂枯れ (ごま葉枯病菌)				
	白葉枯病 内穎褐変病				
	イネドロオウムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病				

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

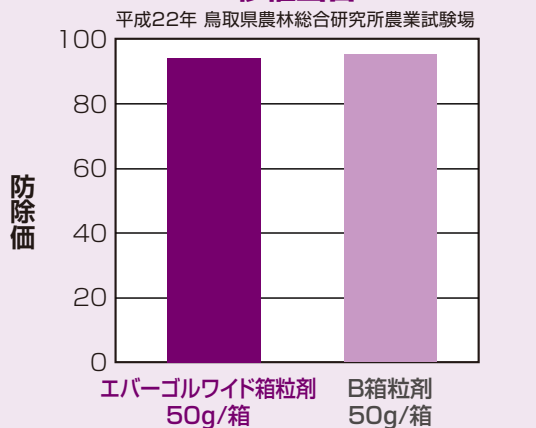
紋枯病に対する防除効果

は種時覆土前



品種：コシヒカリ 発生状況：中発生(接種) 移植：6月8日
 処理：は種時覆土前(5月18日)／対照剤は移植当日(6月8日)
 調査：9月14日 接種：7月28日

移植当日



品種：コシヒカリ 発生状況：中発生(接種)
 移植：5月25日 処理：5月25日 調査：9月7日
 接種：6月10日

注意事項

- 本剤を床土または覆土に混和处理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 極端な低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意して下さい。
- 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前及びは種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、これらの時期での使用を避けて下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧にいき、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないよう注意して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。
- 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすので、移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00
土・日・祝日を除く

(F-2074 18.10.JWT)